

平成 29 年度日野町少年センター活動報告

○街頭補導活動

- (1) 非行少年の早期発見、早期指導、少年の街頭における活動実態の把握、少年をとりまく社会環境の浄化等を目的に、少年補導委員と日野警部交番、少年センター職員が合同で青色パトロール車による巡回指導を49回延べ217人で実施した。
- (2) 思いやりの心を醸成し、豊かな人間関係を育むことを目的に、4月から保護司会、更生保護女性会、主任児童委員、少年補導委員会が合同で、中学生への「朝のあいさつ運動」を中学校校門前で毎週火曜日に29回延べ107人で実施した。
- (3) 少年センター職員が、小学校下校時の通学路で「愛の声かけとマナーの呼びかけ」のパトロールを延べ41回実施した。
- (4) 夏に開催された「氏郷まつり」で少年補導委員と合同でパトロールを実施した。

○環境浄化活動

- (1) 少年の健全育成を阻害すると認められる有害図書等を取り扱う書店、コンビニ店舗等に対して、毎月1回の立入調査を実施した。
- (2) 刃物取扱店および量販店(7店舗)について、条例確認の有無や年齢確認の状況などについての調査を行った。

○広報啓発活動

- (1) 非行防止の取り組みや情報、少年補導委員の活動状況等の記事を掲載した「少年センターだより」を6月1日、9月1日、11月16日、3月1日に発行し新聞折り込みで全戸配布した。
- (2) 少年補導委員会が作成したペープサートを活用して西大路幼稚園、日野幼稚園、必佐幼稚園、桜谷こども園で防犯教室を開催した。

○相談活動

総相談件数は電話相談を含め延べ159回(29人)であった。

- (1) 中学生の来所相談は延べ90回(9人)で、主な相談内容は、学校生活のこと、友人のことなどが多かった。

- (2) 高校生の来所相談は延べ35回(9人)で、主な相談内容は、進路のこと、家庭のこと、友人のことなどが多かった。
- (3) 就労相談は延べ17回(6人)で、主な相談内容は、4月に高校を卒業し就職したが職場になじめずすぐに退職してしまった。家庭環境のこともありどのようにしていけばいいのかわからなくなってしまった。
- また中学校を卒業し友人の紹介で就業したがアルバイト職だったため正規採用してもらえない企業はないか等である。
- 福祉部局やハローワークと連絡を取りながら就労支援を進めたが、本人の意識改革や家庭環境の改善など課題も多く、特に高校を卒業していないとアルバイト職などしかなく中学校卒業の少年にとっては大変厳しい状況であった。

○中学生等に対する学習支援

- (1) 家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていない中学生等の学習意欲の向上や健全な成長を促すため、東近江健康福祉事務所が実施する「子どもの学習支援事業」と連携しながら、教育と福祉が一体となった学習支援を実施した。
- 実施にあたっては大学生ボランティア等(9人)の協力を得て、45回延べ160人の参加があった。

○高等学校等訪問

- (1) 中学校卒業後の生徒の状況を把握するため、9月から12月に日野高校をはじめ、東近江市、甲賀市、湖南市、草津市、大津市の高等学校等を訪問し、日野町内より通学している生徒の在籍状況等を聴き取った。

○関係機関との連携

- (1) 滋賀県青少年補導センター連絡協議会、滋賀県青少年育成県民会議、日野町青少年育成町民会議、日野町防犯自治会、社会を明るくする運動実行委員会をはじめとして、関係機関主催の会議、研修会等の行事に参加した。